

都農町地域資源マップ

4班：



宝夢ゴルフスタジアム
打ちっぱなしができるゴルフ場である。入り口には小型のサウナが設置してある。現在はサウナプームが起きているので、若者たちも集まる場所になりそうだ。



津波避難所
九州ファームという海拔約35メートルの避難所があった。敷地がかなり広がったので、多くの地域の人にとって役立つだろう。しかし、かなり長い坂の上にあるので高齢者の避難は困難かもしれない。

黒丸公民館

この地区の公民館である。津波に注意の看板があり、この付近の海拔は約14mである。公民館の隣には防災倉庫がある。地域福祉バス(コミュニティバス)の停留所があるが、土日は運行していない。



無人販売所

すべて100円でトマト・甘夏・新タマネギの詰め合わせを買うことができるようになっていた。近くにスーパーのような商業施設がなかったため、設置されているのかもしれない。



国道10号
交通量がとても多く、国道沿いに工場が多いのもあってか、特にトラックが多いように感じられた。



スピード落とせ
この看板を設置している家の方にインタビューすることができた。その人が言うことには、「昔の都農町はよかったけど、ミヤチクができてからは一日に300~400台の車が通行するようになってとても困っている」とのことだった。ミヤチクや役場に問い合わせてもあまり解決しなかったようだ。溝に車が落ちることも何回もあったため、この家の方自身がタイヤとカラーコーンを設置したり都農町の建設課が看板や道路標示を設置したりしたそう。ミヤチクに駐車場ができてからは、この道を通行する車の量は減ったそう。都農町に住んでいる人もミヤチクの人も誰もが利用しやすくなってほしいと思った。



ミヤチク都農工場
都農はミヤチク発足の地。宮崎牛は全国和牛能力共進会で4大会連続で最高賞の「内閣総理大臣賞」を受賞している。中に入ることはできなかったが、外見からかなり大規模な工場であることが分かった。



ビニールハウス・養蜂場

都農に住んで68年のご夫婦がビニールハウスで野菜を育てている。敷地内には養蜂場もあった。



ご夫婦にインタビューすることができた。お二人によると、交通の便は悪いし、施設が近辺にないから不自由な点はあるが、慣れると静かで、「住めば都」とのことだった。



津波避難所
大忠児湯センターという海拔約37メートルの避難所があった。国道10号線に面しているので、災害が発生した際には多くの人の避難場所として役立つことが期待される。



コミュニティバス
都農町では、町内を巡回するコミュニティバスが運行している。町立病院・道の駅つのの方面の便がある。利用料金は1人1回あたり200円である。また、交通量の少ない地域では、フェリー乗車ができる。住民の方々は「都農町は交通の面が不便」とおっしゃっていた。このバスは、土日の運行がないため、やはり車を手放すことのできない高齢者は多いと考えられる。

まとめ

田んぼやソーラーパネル、森林に囲まれた風景の中で、都農町のマップ作成に不安を感じていたが、興味深い施設や看板を発見し、住民の温かさに触れることができた。インタビューに応じてくれた4人の方々の親切な対応により、都農町の住民の優しさを実感した。美しい景色に魅了され、写真をたくさん撮ったが、同時に地元の産業と住民間のトラブルという現実にも直面した。特にミヤチクと住民の間の問題を知り、地域産業と住民生活のバランスの重要性を感じた。都農町はふるさと納税や子育てサービスが充実しているものの、町の活気が足りず、交通の不便さも指摘されていた。コミュニティバスの運行が限られているため、車が不可欠で、病院も少ないために町外に行く必要があるようだ。これからの講義を通じて、誰もが住みやすい街づくりの方法を学び、都農町の魅力を伝える手段を考えたいと思った。